

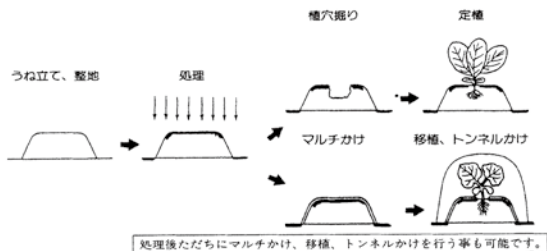
クレマートU 粒剤技術情報

クレマートU 粒剤の基本的な使い方

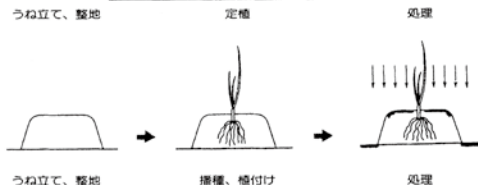
1. 使用時期

クレマートは雑草の発芽前に全面土壌散布し、土壌表層に薬剤の処理層を形成することで効果を発揮します。具体的には作物によって定植前後、は種または植付け後に分類されます。

① 定植前処理



② 定植後処理



③ は種、植付け後処理



2. 使用量

一般に除草剤の作物に対する選択性は有効な使用量において作物に薬害が認められないことが条件です。クレマートの場合、土壌吸着性が選択性の大きな要因となっており、過剰な散布は土壌吸着量を越えその選択性が失われ薬害の要因となります。散布されたクレマートは土壌粒子の表面に吸着され、その吸着量は当然その表面積に比例します。一定量の土壌において粒子の大きさに表面積は反比例することから土壌の粒子が大きい砂壤土では少ない目の使用量（10a当り乳剤200ml、粒剤4kgを標準）、粘土含量が多い植土では多めの量（10a当り乳剤400ml、粒剤6kgを標準）で使います。